

**地方独立行政法人堺市立病院機構  
平成29年度の業務実績に関する評価結果報告書**

平成30年 8 月

堺 市

## 《 目 次 》

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
（Ⅰ）大項目評価	4
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	6
第3 財務内容の改善に関する事項	7
第4 その他業務運営に関する重要事項	8
（Ⅱ）小項目評価	9
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 市立病院として担うべき医療	1 3
2 高度専門医療の提供	2 3
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供	3 2
4 地域への貢献	4 2
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	
1 効率的・効果的な業務運営	5 1
2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり	5 6
第3 財務内容の改善に関する事項	
1 安定した経営基盤の早期確立	6 0
第4 その他業務運営に関する重要事項	
1 環境にやさしい病院運営	6 5
《参考資料》	
・地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針	7 0
・地方独立行政法人堺市立病院機構 年度評価実施要領	7 2

## はじめに

堺市長は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人堺市立病院機構の平成29年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会条例第2条第1項第2号の規定に基づき、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会の意見を踏まえ、平成30年4月1日に決定した「地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針」及び「地方独立行政法人堺市立病院機構 年度評価実施要領」に基づき評価を行った。

### 堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏名	役職名等
委員長	杉本 壽	大阪大学 名誉教授
職務代理	岡原 猛	一般社団法人 堺市医師会 会長
	篠藤 敦子	公認会計士・税理士
	田中 京子	大阪府立大学 療養支援看護学（がん看護学）教授
	山村 功	大阪ガス株式会社 南部地区支配人

# 地方独立行政法人堺市立病院機構平成 29 年度の業務実績に関する評価結果

## 第 1 項 全体評価

### 1. 評価結果及び判断理由

地方独立行政法人堺市立病院機構における平成 29 年度の全体評価の結果は、  
『全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している』である。

平成 29 年度の業務実績に関する評価については、4 ページ以降に示すように、第 1 から第 4 までの 4 つの大項目について、全て「評価 A（中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる）」と判断した。

この大項目評価の結果に加え、平成 29 年度は、さらなる実績と質の向上を追い求め、上位施設基準の取得や診療機能を充実させるための運営体制の見直し等に力を入れた。特に、

①堺市唯一の救命救急センターとして、救命救急病棟 ICU の上位施設基準の取得に取り組み、さらに機能の充実を図り、より重症度の高い患者を積極的に受け入れ、高度な三次救急医療を提供するなど、堺市内の安定的な救急医療体制の維持に貢献し、公的病院として地域で担うべき役割を十分に果たしたこと

②がん医療については、高度な手術支援ロボット「ダビンチ」による腎がん手術を取り入れたことをはじめ、身体的負担の少ない低侵襲治療を推進するとともに、行政との協働で検診の重要性を発信するなど、地域がん診療連携拠点病院としてあらゆるがん分野の取り組みを牽引してきたこと

③財務状況については、病院全体での取り組みが、手術件数の増加や平均在院日数の短縮などに繋がり、入院収益と外来収益を合計 11 億円以上増加させ、収入を確保すると同時に、費用の削減にもしっかりと取り組んだことで、黒字の達成に向けて前年度以上に収支状況を改善させたこと

から、平成 29 年度の業務実績は、「全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している」とした。

### 項目別評価の結果一覧

大項目	評価項目数	小項目評価数					大項目評価
		5	4	3	2	1	
第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	15	2	10	3			A
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	5		5				A
第 3 財務内容の改善に関する事項	1		1				A
第 4 その他業務運営に関する重要事項	1			1			A
<b>合計</b>	<b>22</b>	<b>2</b>	<b>16</b>	<b>4</b>			
(再掲) 重点小項目	3	1	2				

## 2. 全体評価にあたって考慮した内容

第2期中期計画の中間年となる平成29年度は、施設の診療機能をフルに発揮することで重症度の高い患者の診療や難易度の高い手術が増加し、大学病院本院に準じた診療密度と一定の機能を提供する病院としてDPCⅡ群（特定病院群）病院に認定された。

特に、救急医療については、堺市唯一の救命救急センターを有する医療施設として、重度外傷応需率が94.9%と前年度以上に重症度の高い外傷患者を受け入れた。さらに二次救急医療・三次救急医療の一体的な運用により、救急搬送受入件数も9,322件まで増加し、「三次コーディネート」の要請があったものについては、ほぼ救命救急センターで対応するなど、堺市内における安定した救急医療体制の維持に貢献したことは、非常に大きな功績である。

がん医療では、化学療法調整件数、放射線治療延件数、がん登録件数が、年度計画目標を大きく上回り、手術支援ロボット「ダビンチ」の対象疾患に腎がんを追加するなど、手術・放射線療法・化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療による質の高いがん医療の提供に尽力した。また、堺市と協働して講演会等を開催し、市民のがんへの意識向上を図るなど、診療だけでなく、がん予防の普及・啓発にも広く取り組み、地域がん診療連携拠点病院として、予防、診療、緩和ケアまで包括的ながんへの対応に取り組んだことは、高く評価できる。

医療の質向上については、診療センター化を実現させ、診療科目を越えた多職種チーム医療により、高度な医療を安全かつ効率的に提供する体制を整備した。院長直轄の医療の質向上ワーキングにおいて、既存の臨床指標の廃止及び新たな臨床指標の設定を実施した。

地域の医療機関との連携にあたっては、紹介率と逆紹介率が前年度より上昇し、年度計画目標を達成した。地域の医療従事者への研修会実施回数についても、年度計画目標を大きく上回っており、地域の医療機関との連携をより深めている。

地域での医療従事者の育成については、医学生、看護学生、薬学部生の実習受入人数が、すべて前年度を上回った。医学生等の実習については、多くの学生に臨床研修体制を周知するため、研修プログラムの充実や初期研修医募集パンフレットの作成、紹介動画の作成・公開を行うなど、地域における優秀な人材の育成に貢献した。

行政との連携については、性暴力救援センター大阪（SACHICO）の協力医療機関として、受診専用ホットラインを開設した。また、小中学生を対象とした「いのちの授業」の開催や、健康さかい21の健康フェアでのロボット技術等の出展など、行政全般等との連携に努めた。

経営状況に関しては、手術件数の増加、平均在院日数の短縮などにより、入院・外来収益の合計が前年度より約11.6億円増加するとともに、引き続き費用の削減にも取り組んだことで、経常収支比率は99.5%となり、黒字の達成に向けて収支状況を改善させた。

## 3. 評価にあたっての意見、指摘等

○地域の医療機関との機能分担や職員の疲弊防止にはくれぐれも留意していただきたい。

○これまでの医療安全対策をより一層推進し、市民に信頼される医療の提供に尽力していただきたい。

## 第2項 項目別評価

### (I) 大項目評価

#### 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

#### i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり 進んでいる	B おおむね計 画どおり進 んでいる	C 計画よりや や遅れてい る	D 大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要
------	--------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------------

#### ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。特に、1－(1)救命救急センターを含む救急医療、4－(2)地域での医療従事者の育成の2項目は、様々な取り組みを評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断した。また年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1－(2)小児医療・周産期医療、1－(4)災害その他緊急時の医療、2－(1)がんへの対応、2－(2)脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応、2－(3)高度専門医療の推進、3－(2)医療の質の向上、3－(4)患者の視点に立った医療の実践、3－(5)患者サービスの向上、4－(1)地域の医療機関との連携推進、4－(3)医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力の10項目である。

次に重点ウエイト小項目である1－(1)救命救急センターを含む救急医療については、「年度計画を大幅に上回って実施している」、2－(1)がんへの対応については、「年度計画を上回って実施している」の評価とした。

これらのことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

#### iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウ エイト 小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 市立病院と して担うべ き医療	(1)救命救急センターを含む救急医療	○					◎
	(2)小児医療・周産期医療		○				
	(3)感染症医療			○			
	(4)災害その他緊急時の医療		○				
	小計	1	2	1			

		小項目評価					重点ウ エイト 小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
2 高度専門医 療の提供	(1)がんへの対応		○				◎
	(2)脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿 病への対応		○				
	(3)高度専門医療の推進		○				
	小計		3				
3 安全・安心 で信頼され る患者中心 の医療の提 供	(1)医療安全対策の徹底			○			
	(2)医療の質の向上		○				
	(3)法令・行動規範の遵守（コン プライアンス）			○			
	(4)患者の視点に立った医療の実 践		○				
	(5)患者サービスの向上		○				
	小計		3	2			
4 地域への貢 献	(1)地域の医療機関との連携推進		○				
	(2)地域での医療従事者の育成	○					
	(3)医療、保健、福祉、教育など の行政全般等との連携と協力		○				
	小計	1	2				
合 計		2	10	3			
(構成比率)		100.0%					

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり 進んでいる	B おおむね計 画どおり進 んでいる	C 計画よりや や遅れてい る	D 大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要
------	--------------------	---------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------------

### ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1－(1)自律性・機動性の高い組織づくり、1－(2)質の高い経営、1－(3)外部評価等の活用、2－(1)職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備、2－(2)働きやすい職場環境の整備の5項目である。

これらのことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

### iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウ エイト 小項目
		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 効率的・効 果的な業務 運営	(1)自律性・機動性の高い組織づくり		○				
	(2)質の高い経営		○				
	(3)外部評価等の活用		○				
	小計		3				
2 やりがいを感じ、働き やすい病院 づくり	(1)職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備		○				
	(2)働きやすい職場環境の整備		○				
	小計		2				
合 計			5				
(構成比率)			100.0%				



### 第3 財務内容の改善に関する事項

#### i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
評価結果	特筆すべき 進捗状況	計画どおり 進んでいる	おおむね計 画どおり進 んでいる	計画よりや や遅れてい る	大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要

#### ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、1 安定した経営基盤の早期確立の1 項目である。

また、重点ウエイト小項目である1 安定した経営基盤の早期確立については、目標指標10 項目のうち7 項目が年度計画目標を上回っており、黒字の達成へ向けて前年度以上に収支状況を改善させたことから、「年度計画を上回って実施している」とした。

これらのことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

#### iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウ エイト 小項目
	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 安定した経営基盤の早期確立		○				◎
小計		1				
合 計		1				
(構成比率)		100.0%				

第4 その他業務運営に関する重要事項

i) 評価結果 **A** 中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	<b>A</b> 計画どおり 進んでいる	B おおむね計 画どおり進 んでいる	C 計画よりや や遅れてい る	D 大幅に遅れ ており重大 な改善が必 要
------	--------------------	----------------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------------

ii) 判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している状況という結果であった。  
このことより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウ ェイト 小項目
	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
1 環境にやさしい病院運営			○			
小計			1			
合 計			1			
(構成比率)	100.0%					